



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	81,055	7.2	3,798	87.9	3,557	111.6	2,063	243.6
2023年3月期第2四半期	75,595	21.2	2,021	—	1,681	—	600	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,156百万円(194.1%) 2023年3月期第2四半期 733百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	24.50	—
2023年3月期第2四半期	7.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	221,480	132,549	59.7
2023年3月期	233,416	132,251	56.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 132,304百万円 2023年3月期 131,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日別途開示しました「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	5.0	13,000	27.0	12,500	48.3	6,800	20.7	80.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日別途開示しました「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	86,649,504株	2023年3月期	87,649,504株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,626,827株	2023年3月期	2,746,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	84,218,844株	2023年3月期2Q	84,902,871株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料について)

・四半期決算補足説明資料については、2023年11月9日(木)の決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(四半期決算説明会資料について)

・当社は、2023年11月22日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会 (WEB説明会) を開催する予定です。この決算説明会資料については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、夏場に台風や豪雨等もあり個人消費は一時停滞傾向となったものの、社会経済活動の正常化が進んだこと等により全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、不安定な海外情勢や円安などによりエネルギーや原材料価格の高騰に伴う物価上昇等の影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は810億55百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は37億98百万円（前年同期比87.9%増）、経常利益は35億57百万円（前年同期比111.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億63百万円（前年同期比243.6%増）と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業は、商品面において、ご好評をいただいているパジャマスーツシリーズからリラックス感が高くトレンドを意識した「パジャマスーツリラックス」を新たに展開するとともに、ジャケットのインナーとしても最適な「スーツ屋の仕立てたTシャツ」等、ビジネススタイルの変化に合わせた品揃えを拡充いたしました。レディースでは、働く女性に向けた夏のセットアップのご提案及びしわやたるみの原因となる近赤外線をカットする「キンセキカットTシャツ」等、快適にお過ごしいただける商品を展開いたしました。店舗面では、AOKIで業態転換を含む3店舗を新規出店した一方、営業効率改善と業態転換のためAOKIで2店舗及びORIHICAで3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は594店舗（前期末596店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び猛暑によりサマーフォーマルやクールビズ関連商品が好調に推移した結果、売上高は376億43百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は4億37百万円（前年同期比100.7%増）と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、WEBやSNSを活用した効率の良い集客施策を継続して実施するとともに、開業25周年を迎えるアニヴェルセル表参道は、「TOKI MAKE（トキメイク）～大切な人との時をつくる記念日の館～」をコンセプトに、記念日にまつわるトキ・コト・モノ・サービスを提供する施設として9月8日にリニューアルオープンいたしました。今後アニヴェルセルは記念日のプロデュース企業へと進化させ更なる成長へとつなげてまいります。

これらの結果、アニヴェルセル表参道の休館やリニューアル費用の発生及び既存店の施行組数が堅調に推移した結果、売上高は43億48百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失は4億34百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

(エンターテイメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付完全個室店舗の拡大や内外装のリフレッシュ改装等お客様のニーズに合わせた店舗環境の整備・改善を進めました。また、東京商工会議所が主催する検定試験や日本経済新聞社が提供する「OFFICE PASS」との連携によりビジネス・学習用途でのサービスの向上を継続するとともに、有名飲食チェーン店やメーカーとの季節限定タイアップメニューを提供いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、朝カラパックや夜得キャンペーン等のいつでもお得にご利用いただけるプランを導入するとともに、季節メニューとして冷製パスタやかき氷の提供等飲食メニューの充実を図りました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24は、予定通り新規出店及びインドアゴルフの導入を継続いたしました。店舗面では、快活CLUBで3店舗及びFIT24で6店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBで5店舗及びコート・ダジュールで6店舗を閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他97店舗（内フランチャイズ54店舗）を含め、当第2四半期末の店舗数は799店舗（前期末810店舗）となりました。

これら諸施策の実施等により、売上高は382億77百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は37億35百万円（前年同期比102.3%増）と増収増益になりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、当社グループ内店舗の遊休スペース等の賃貸を推し進めたこと等により、売上高は27億24百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は4億61百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ119億36百万円減少し、2,214億80百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が86億2百万円及び売掛金が季節的要因等により68億65百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ151億89百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が38億37百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ32億53百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により54億79百万円、1年内返済予定の長期借入金が約定返済等により17億87百万円、未払法人税等が法人税等の支払いにより13億36百万円及び賞与引当金が14億75百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ114億41百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が60億円の借入れ及び1年内への振替の結果11億68百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ7億93百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、資本剰余金が自己株式の消却により11億97百万円減少した一方、自己株式が取得及び消却により4億43百万円減少するとともに、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果9億59百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ2億98百万円増加しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比べ86億2百万円減少し、296億93百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は37億53百万円（前年同期と比べ5億45百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が39億20百万円及び減価償却費が47億10百万円となった一方、仕入債務の減少額が54億79百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、64億54百万円（前年同期と比べ58億47百万円増加）となりました。これは主に、新規出店及びリニューアル等に伴う有形固定資産の取得が75億10百万円となった一方、信託受益権純減少額が5億85百万円になったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、59億2百万円（前年同期と比べ8億19百万円減少）となりました。これは主に、長期借入れを60億円実施した一方、長期借入金の約定返済が89億56百万円、配当金の支払額が11億4百万円及び自己株式の取得を8億77百万円実施したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、第2四半期連結累計期間の業績をベースに下期の各事業の営業施策等を考慮し、2023年5月11日に公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日別途開示しました「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、セグメント別の通期業績予想についても、以下のとおり修正しております。

【2024年3月期のセグメント別予想】

	ファッション 事業	アニヴェルセル・プライ ダ ル事業	エンターテ イメント 事業	不動産賃貸 事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	97,500	10,000	75,700	5,800	185,000
前期比(%)	103.2	106.2	106.2	120.6	105.0
セグメント利益	8,000	50	5,000	1,100	13,000
前期比(%)	120.1	13.0	150.0	147.3	127.0

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、その他及び連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,295	29,693
売掛金	13,114	6,248
棚卸資産	19,465	21,386
その他	8,015	6,361
貸倒引当金	△54	△42
流動資産合計	78,836	63,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,898	65,566
土地	31,021	31,021
その他（純額）	14,378	16,547
有形固定資産合計	109,299	113,136
無形固定資産		
投資その他の資産	7,007	6,910
投資その他の資産		
差入保証金	6,628	6,511
敷金	19,013	19,013
その他	12,682	12,314
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	38,272	37,786
固定資産合計	154,579	157,832
資産合計	233,416	221,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,963	12,484
1年内返済予定の長期借入金	10,647	8,859
未払法人税等	2,012	676
賞与引当金	3,349	1,874
役員賞与引当金	65	67
その他	14,865	13,501
流動負債合計	48,904	37,463
固定負債		
長期借入金	36,206	35,038
退職給付に係る負債	895	876
資産除去債務	7,855	7,952
その他	7,302	7,599
固定負債合計	52,260	51,466
負債合計	101,164	88,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	23,795	22,597
利益剰余金	87,434	88,394
自己株式	△3,490	△3,047
株主資本合計	131,022	131,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	846
退職給付に係る調整累計額	265	230
その他の包括利益累計額合計	947	1,076
非支配株主持分	281	245
純資産合計	132,251	132,549
負債純資産合計	233,416	221,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	75,595	81,055
売上原価	47,704	49,466
売上総利益	27,890	31,589
販売費及び一般管理費	25,869	27,790
営業利益	2,021	3,798
営業外収益		
受取利息	32	31
受取配当金	19	21
その他	117	79
営業外収益合計	168	132
営業外費用		
支払利息	188	150
固定資産除却損	52	29
その他	268	194
営業外費用合計	509	374
経常利益	1,681	3,557
特別利益		
受取解決金	—	500
雇用調整助成金等	254	—
特別利益合計	254	500
特別損失		
減損損失	634	137
特別損失合計	634	137
税金等調整前四半期純利益	1,300	3,920
法人税、住民税及び事業税	529	1,065
法人税等調整額	258	826
法人税等合計	788	1,892
四半期純利益	512	2,027
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△88	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益	600	2,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	512	2,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	164
退職給付に係る調整額	△38	△35
その他の包括利益合計	221	129
四半期包括利益	733	2,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	821	2,192
非支配株主に係る四半期包括利益	△88	△35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,300	3,920
減価償却費	4,591	4,710
減損損失	634	137
受取解決金	—	△500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△33	△71
受取利息及び受取配当金	△51	△53
支払利息	188	150
売上債権の増減額 (△は増加)	6,923	6,865
棚卸資産の増減額 (△は増加)	486	△1,921
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,776	△5,479
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,330	△1,482
その他	△1,874	△790
小計	6,058	5,485
利息及び配当金の受取額	41	47
利息の支払額	△188	△165
解決金の受取額	—	500
法人税等の支払額	△2,703	△2,987
法人税等の還付額	—	873
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,208	3,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,403	△7,510
無形固定資産の取得による支出	△262	△392
敷金及び保証金の差入による支出	△70	△310
信託受益権の純増減額 (△は増加)	465	585
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	82	—
その他	1,582	1,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△606	△6,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,899	—
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△7,996	△8,956
リース債務の返済による支出	△1,070	△963
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△125	—
自己株式の取得による支出	△0	△877
配当金の支払額	△428	△1,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,721	△5,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,119	△8,602
現金及び現金同等物の期首残高	37,937	38,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,817	29,693

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、2023年5月16日に自己株式を100万株取得し、同年5月29日に同株数を消却いたしました。

これらの結果、自己株式の取得により自己株式が877百万円増加し、消却により資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,165百万円減少しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	エンターテイメント事業	不動産賃貸事業	計				
売上高									
ファッション	36,190	—	—	—	36,190	—	36,190	—	36,190
ブライダル	—	4,202	—	—	4,202	—	4,202	—	4,202
複合カフェ	—	—	27,054	—	27,054	—	27,054	—	27,054
カラオケ	—	—	4,698	—	4,698	—	4,698	—	4,698
フィットネス	—	—	2,428	—	2,428	—	2,428	—	2,428
その他	—	—	330	—	330	12	342	—	342
顧客との契約から生じる収益	36,190	4,202	34,512	—	74,904	12	74,917	—	74,917
その他の収益	—	—	20	657	677	—	677	—	677
外部顧客への売上高	36,190	4,202	34,532	657	75,582	12	75,595	—	75,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	23	1,704	1,734	28	1,762	△1,762	—
計	36,190	4,208	34,555	2,362	77,316	40	77,357	△1,762	75,595
セグメント利益又は損失(△)	218	△29	1,846	407	2,443	1	2,444	△423	2,021

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△423百万円には、セグメント間取引消去2,015百万円、のれん償却額△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,418百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、(企業結合等関係)に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ31百万円、595百万円及び8百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「エンターテイメント事業」セグメントにおいて、株式会社ランシステムの株式を取得し連結の範囲に含めたことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては407百万円です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	エンターテ イメント 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	37,641	—	—	—	37,641	—	37,641	—	37,641
ブライダル	—	4,347	—	—	4,347	—	4,347	—	4,347
複合カフェ	—	—	29,946	—	29,946	—	29,946	—	29,946
カラオケ	—	—	5,117	—	5,117	—	5,117	—	5,117
フィットネス	—	—	2,611	—	2,611	—	2,611	—	2,611
その他	—	—	561	—	561	20	581	—	581
顧客との契約から 生じる収益	37,641	4,347	38,236	—	80,225	20	80,246	—	80,246
その他の収益	—	—	39	770	809	—	809	—	809
外部顧客への売上高	37,641	4,347	38,276	770	81,034	20	81,055	—	81,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	1	1,954	1,959	31	1,990	△1,990	—
計	37,643	4,348	38,277	2,724	82,994	51	83,046	△1,990	81,055
セグメント利益 又は損失(△)	437	△434	3,735	461	4,200	△11	4,188	△389	3,798

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。
2. セグメント利益又は損失の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去2,124百万円、のれん償却額△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,473百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ20百万円及び116百万円です。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2022年6月30日(みなし取得日)に行われた株式会社ランシステムとの企業結合について前第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額777百万円は、会計処理の確定により同額減少し、のれんの金額407百万円及び商標権1,142百万円を計上しております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、のれん償却額は18百万円減少、商標権償却額は14百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4百万円増加しております。